

おおまつ 重 和 大松しげかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

市民が心一つに復興に取り組む

あの大地震から4年が経過

8年前の県議選で、新生・旭市からしがらみのない「さわやか政治」を掲げて県議会に登場した大松重和（おおまつ・しげかず）県議は、今任期最後の2月定例県議会の予算委員会に登壇しました。大松県議は、あの東日本大震災によって大きな被害を受けた旭市を代表し、市民が心一つにして復旧・復興に取り組んできた経過を語り、津波避難訓練の大切さなどを訴えました。また、看護師不足への対応や専門の農林業分野での新たな課題を指摘するなど、大松県議の主な質疑を特集しました。



新年度予算案を審議する予算委に登壇した大松県議

上永井海岸の堤防損壊で要望

河川整備課長 同海岸 は、防潮堤の波返し部の約150メートルが、東日本大震災の津波により破損したのと思われまます。また、管理用通路が約30メートルにわたり、基礎部が洗掘・吸出しを受けたことから、陥没しております。

大松委員 上永井海岸の 今後の復旧の見通しはどうか。

河川整備課長 現在、 現地の詳細調査が完了し、後背地を波による侵食から防ぐため、早期に仮防護工を設置する予定です。陥没

箇所については、基礎部分が洗掘された箇所は、水中コンクリートを打設して吸出しを防止し、養生の後、碎石にて埋め戻します。最後に、コンクリート舗装を復旧することにより、安全を確保してまいります。

要望 被災された皆さまの心の傷跡に思いを馳せる時、こうした震災を思い出させるような爪跡はできるだけ早く取り除いていただきたい。事故が起きてからでは遅いので、早急な対応をお願いいたします。

新年度新たに土砂災害避難訓練も

大松委員 東日本大震災 で、津波により大きな被害を受けた私の地元の旭市では、震災を契機に津波避難訓練を毎年実施してまいりました。住民の防災意識を高め、災害時に落ち着いて適切な避難行動等が取れるようにするために、住民参加の訓練を繰り返し実施していくことが重要です。

そこで伺います。平成27年度はどのような防災訓練をするのか。

危機管理課長 県では、 大規模地震を想定した九都県市合同防災訓練のほか、

東日本大震災を教訓とした津波避難訓練や帰宅困難者対策訓練を県民参加のもと、引き続き実施します。

さらに近年、全国各地で発生している局地的豪雨による土砂災害を想定した訓練を、来年度、新たに実施することとしています。

大松委員 新たに実施する土砂災害避難訓練はどのようなものか。

危機管理課長 局地的豪雨による土砂災害では、市町村が適切なタイミングで避難勧告等を発令し、住民に速やかに避難していただくことが重要です。

このため、新たに実施する訓練では、気象警報等を踏まえた市町村における避難勧告等の発令時期や対象地域の決定から、住民避難までの一連の訓練を予定しています。

実施に当たっては、訓練に参加する県土整備部、気象台、市町村などと具体的な内容を協議し、効果的な訓練となるよう努めてまいります。

要望 土砂災害避難訓練などについては、実践に即した訓練とし、住民の迅速な避難につながる効果的な訓練となるようお願いいたします。

2月県議会予算委員会での発言

大松委員 私の地元・旭市は、東日本大震災により14名の方々の尊い命が失われ、2名の方が行方不明となり、1千百棟を超える建物が全壊または半壊となる大きな被害を受けました。あの震災から早いもので、間もなく4年が経過しようとしています。この間、旭市の復旧・復興が進む中、一部、取り残された災害もありま

す。旭市と銚子市の境の上永井海岸では、波により堤防の一部が破損し、管理用の通路が陥没しています。そこで伺います。上永井海岸の被害状況はどうか。

豪雨による土砂災害では、市町村が適切なタイミングで避難勧告等を発令し、住民に速やかに避難していただくことが重要です。

がんばろう！旭市

県政や地元・旭市のことはお気軽にご相談ください。〒289-2505 旭市鎌数174-2
大松しげかず 県議事務所 TEL0479(62)7571 FAX0479(63)9300

深刻な看護師不足へ対応求め!

看護学部新設大学へ補助



予算委員会で発言を求めた大松県議

平成27年度は、看護学部を新設予定の大学3校に対する補助額を新たに当初予算に計上していますが、今後、看護専門学校からも新設や定員増の意向があった場合には、支援について検討してまいりたいと考えています。

看護教員の育成強化

大松委員 看護専門学校の支援策として、看護教員の育成強化を図るべきと思うがどうか。

医療整備課長 看護師等の養成数の拡充に当たっては、養成施設の整備を促進するとともに、質の高い看護教員を養成し、確保することも大切であると認識しています。

地域医療ビジョン

大松委員 高度急性期病床や急性期病床など、4つの医療機能を地域の実情に合うよう整備するため、県はどのように取り組んでいるのか。

保健医療担当部長 県では、病床機能報告制度に基づき県内の病院などから

ビジョン策定後には、その実現に向け、医療関係者などで構成する「協議の場」を活用しながら、「高度急性期病床」「急性期病床」などの4つの病床機能への分化の促進や、連携の強化について各地域の状況に応じた検討を行ってまいります。

各地域において必要となる医療資源が適切に整備されるよう支援を行っていただき、県民一人ひとりが健やかに地域で暮らし、心豊かに長寿を全うできる社会となるよう、より一層のご尽力をお願いいたします。

新規需要米大幅に拡大

大松委員 平成26年産米の価格が大幅に低下しましたが、この状況が続けば稲作農家は意欲を失い、経営の継続を断念しかねないと、私は懸念しています。

農家所得の向上を目指し、需給状況の改善を進めることが重要だと思えます。

そこで伺います。本県におけるこれまでの飼料用米をはじめとする新規需要米の状況はどうか。

生産振興課長 新規需要米の取り組みは拡大が続



えて、多収性専用品種による飼料用米などを原則5ヘクタール以上の団地で取り組む場合に、10アール当たり4千円の補助を行うこととしています。

また、新規需要米などの取り組みを拡大し、流通の合理化を図ろうとする農業者等に対し、フレコンバッグ出荷に対応した施設整備に係る経費の一部を補助することとしています。

農家へ周知

大松委員 農家に対し、どのように飼料用米への取り組みの優位性を周知していくのか。

農林水産部長 すべての稲作農家に対して、飼料用米生産による具体的な収入の試算や異品種混入防止策

いわゆるコンタミ対策を分かりやすく説明した資料を配布することとし、作成した資料を1月末までに全市町村に配布したところです。

さらに、今後、県下10地域において説明会を実施し、関係者に対して飼料用米への取り組みの意義あるいは有利性を周知徹底してまいります。

県の支援策

大松委員 飼料用米等に取組む農家に対し、県はどのような支援を行っているのか。

生産振興課長 先ほどお答えした農家の収入試算の中には、1500円の県独自のの上乗せ補助が含まれていますが、県ではこれに加

えて、助成水準の維持を含めた支援制度の恒久化を強く働きかけるよう要望します。

また、県が独自に実施している飼料用米等に対する上乗せ補助についても、事業の継続を強く要望します。

農家収入は主食用と同等以上

飼料用米への転換

旭市特集

私の地元である香取海浜保健医療圏における

医療整備課長 看護師不足の改善に向け、養成数を増やすことは重要な確保対策と認識しており、県では、民間の看護専門学校や看護大学が新設や定員増を行う場合に、施設設備の整備費に対する補助制度を設けています。

大松委員 高度急性期病床や急性期病床など、4つの医療機能を地域の実情に合うよう整備するため、県はどのように取り組んでいるのか。

保健医療担当部長 県では、病床機能報告制度に基づき県内の病院などから

大松委員 千葉県は全国第2位のスピードで急速に高齢化が進み、今後、医療や介護に対する県民の需要が大きく増大することが見込まれています。その一方で、医療従事者、とりわけ看護職員の人口10万人当たり人数は、全国平均を大きく下回り、全国最下位グループであるのが現状です。

中核病院で、全国有数の病床数を誇る旭中央病院においても、周辺の自治体病院等と同様に、看護師確保に苦勞していると聞いています。看護専門学校が定員増を図る際、県も支援すべきと思うがどうか。

医療整備課長 看護師不足の改善に向け、養成数を増やすことは重要な確保対策と認識しており、県では、民間の看護専門学校や看護大学が新設や定員増を行う場合に、施設設備の整備費に対する補助制度を設けています。

大松委員 高度急性期病床や急性期病床など、4つの医療機能を地域の実情に合うよう整備するため、県はどのように取り組んでいるのか。

保健医療担当部長 県では、病床機能報告制度に基づき県内の病院などから